

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和7年度）2025年

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	8	23	土	9：30	13：00	西市民センター 多目的活動室	5名
活動名称	カローレ 竹細工支援					報告者：吉井 優	

1、活動目的

カローレのジュニアアスポート事業部森祐子さんから、竹細工指導の依頼がありました。毎年、七夕の竹を、五味ヶ谷市民の森で切り出し提供していますが、今年も竹細工の要請があり、協力することになりました。竹細工は、我々の得意分野であり、五味ヶ谷市民の森の竹を有効利用できますので、最優先で協力することにしています。

2、活動内容ほか

協力スタッフは、9時30分に西市民センター多目的活動室（西児童館北側の旧ひまわり活動所）に集まり、竹材と、竹ノコギリ、作業台、竹用鉋などを積み下ろし、会場に敷いたブルーシートの上に設置しました。当日の参加者は子供34名（学童保育28名、ジュニアアスポート6名）学童保育室指導員5名、ジュニアアスポート指導員4名、里山クラブ5名と大人数となりました。当日作成する作品は、お椀、お皿を参加人数分作りました。余った時間で竹ぼっくり、ケンダマ、一輪挿し、輪投げ、などを作りました。竹皿は、太い孟宗竹を切断するため、子どもたちはかなり頑張ってノコギリ作業ができたようです。半割する作業は、スタッフが行いましたが、一発で2個の皿ができることに感動してくれました。したがって達成感も高かったようです。今回は、お椀とお皿をつくり、お皿に昼食のてんぷらと、ソーメンを盛り付け、お椀にだし汁、薬味を入れて美味しくいただきました。作ったお椀と、お皿には名前を書かせて、水洗いをさせ、昼食後に各自もって帰りました。

3、評価：

スタッフも含めて全員で、作ったお椀とお皿で昼食をいただきました。お皿に盛りつけた、てんぷらとソーメンは、調理スタッフさんの努力もあり、ものすごく美味しかったです。このてんぷらソーメンを楽しむために、竹細工スタッフとして参加したとも言えます。

3、課題

竹細工で、お椀とお皿を作り、それを使ってお昼ご飯を盛り付けて美味しくいただくというイベントは、昨年に続き2回目ですが、すごく喜ばれている手応えを感じました。今回は、参加人数が非常に多く、お皿とお椀づくりで大半の時間を使い、竹細工体験は、30分ほどしかできませんでした。次回は、主催者側と相談ですが、時間を30分はやめ、我々のホワイトシートも持ち込んで会場を広く使うことも考えます。

（手順：2人組でお皿、お椀を作り、紙やすりで磨く、時間がある人は一輪挿しや竹ぼっくり、けん玉に挑戦してもらった。）

<里山参加会員>

吉井、小嶋、牛島、杉山、長島

<活動写真>

